

都市再生整備計画 事後評価シート
瀬戸まちなか地区

平成26年3月

愛知県瀬戸市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	瀬戸市	地区名	瀬戸まちなか地区			面積	169ha
交付期間	平成23年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	446百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		(都)新瀬戸駅南口交通広場、瀬戸市駅前広場、道泉地域交流センター(仮称)						
	提案事業		道泉地域交流センター(仮称)附帯事業、児童遊園等環境整備事業						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	提案事業	児童遊園等環境整備事業	—		—		—		
新たに追加した事業	基幹事業	(都)新瀬戸駅南口交通広場(高質空間形成施設:緑化施設等、歩行支援施設)		事業内容を精査し、当該事業の位置付けを道路事業から高質空間形成施設に変更したものの。		影響なし。			
	提案事業	道泉消防分団詰所整備事業		消防分団詰所(昭和34年建築)の耐震化に伴う建替え事業を追加するもの。		目標2の「安心・安全な住環境整備」及び指標1の「自治会等の地域活動が盛んであると思う市民の割合」に影響するが、目標及び指標は据え置く。			
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		交付期間の短縮により、一部の事業は完了できず、内容の変更があった。その影響により、当初の指標2(駅前広場内路上駐輪台数の減少)を削除、新たな指標(駅乗降客数)を追加した。			
	変更	平成23年度～平成25年度							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	自治会等の地域活動が盛んであると思う市民の割合	%	30.8	H20	53.9	H25	27.5	×	あり	なし	道泉地域交流センターが建設され、地域活動の拠点が創設されたものの、住民アンケートによる「地域活動が盛んであると思う市民の割合」の増加は見られなかった。地域交流センターの整備完了から間もないため、地域活動が一部の住民に限られ、地域全体に波及していないものと考えられる。	—
	指標2	生涯学習等講座数の増加	講座	6	H22	12	H25	12	○	あり	なし	道泉地域交流センターが建設されたことにより、地域活動の場が確保され、また活動の幅が広がりが生涯学習等講座数の増加につながった。	平成26年6月
指標3	駅乗降客数	人/日	9,700	H21	9,700	H25	10,048	○	あり	なし	新瀬戸駅南口交通広場の整備及び、(都)新瀬戸駅前線(関連事業)等の整備により、駅利用の利便性が高まったことから、駅乗降客数が維持された。	平成26年6月	

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	地域力向上事業による地域活動数	—	7	H22			12				道泉地域交流センターが建設され、地域活動の拠点が創設されたことにより、地域力向上アクションプランに基づく活動が活性化し、活動の幅が広がった。	平成26年6月
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													

4)定性的な効果発現状況

- ・道泉地域交流センターの利用者数は、従前の道泉公民館利用者数から増加しているため、地域活動や住民同士の交流の活性化につながったと言える。
- ・アンケートの結果より、「防犯上の不安がない」「災害の不安がない」の項目において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しており、地域活動として実施されているスクールガードや青パト防犯パトロール、防災訓練などの活動の効果が表れていると言える。
- ・地域活動として、その他の数値指標1の12の活動のほかにも、チャリティーバザー等活動を実施しているほか、住民の方が参加しやすいイベント開催の工夫を検討・実施している。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
	住民参加プロセス	「地域力向上アクションプラン」に基づく活動	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	今後も地域住民主体の様々な活動を推進するため、活動費用の一部助成や活動機会、活動の場の提供により支援を行う。
持続的なまちづくり体制の構築	「地域力向上アクションプラン」に基づく活動	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	今後も地域住民主体の様々な活動を推進するため、活動費用の一部助成や活動機会、活動の場の提供により支援を行う。	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

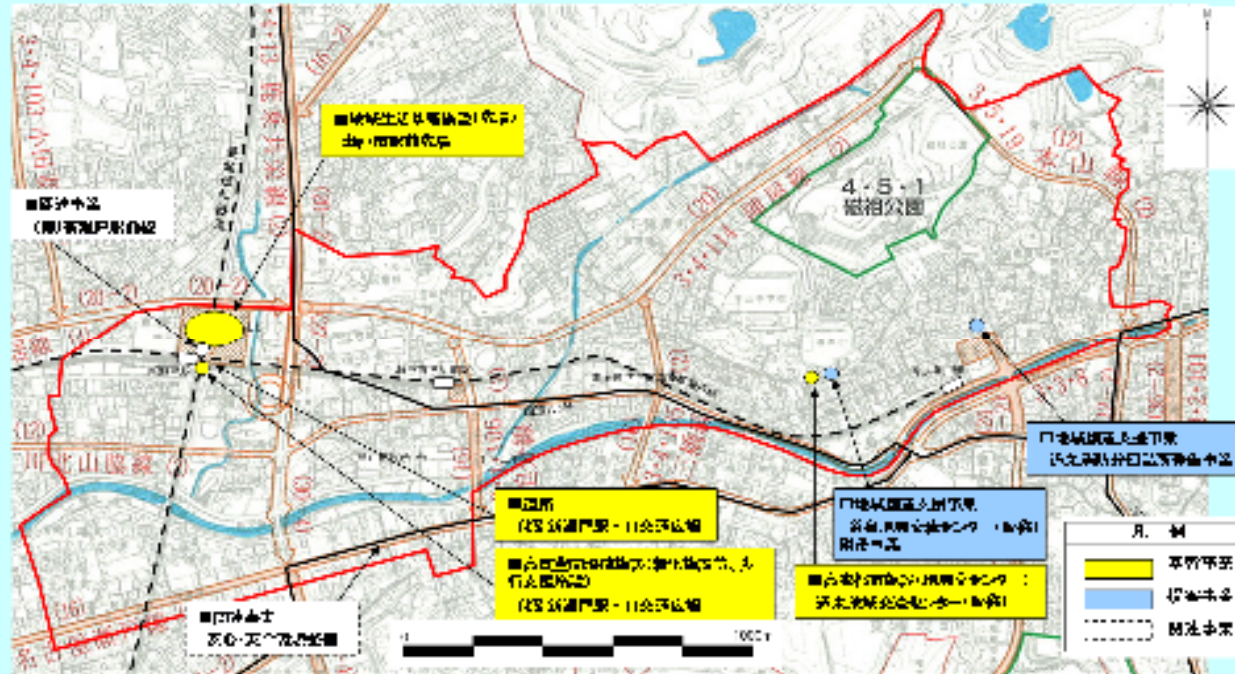
様式2-2 地区の概要

瀬戸まちなか地区(愛知県瀬戸市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 安心・安全で、住民同士の交流を中心とした、生きがいあふれるまちづくり 目標1: 住民同士の幅広い交流の創出 目標2: 安心・安全な環境整備	自治会等の地域活動が盛んであると思う市民の割合	単位: % 30.8 H20	53.9 H25	27.5 H25
	生涯学習等講座数の増加	単位: 講座 6 H22	12 H25	12 H25
	駅乗降客数	単位: 人/日 9,700 H21	9,700 H25	10,048 H24



新瀬戸駅南口交通広場



道泉地域交流センター(仮称)



新瀬戸駅南口交通広場



道泉地域交流センター(仮称)附帯事業

まちの課題の変化	<p>【課題の改善状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通広場の整備により、交通利便性が向上した。また、安心・安全な住環境の向上につながった。 地域交流センター整備により、地域活動や生涯学習講座等の実施が活発となった。また、地域力向上アクションプランの推進により、地域主体による問題解決の動きが見られた。 <p>【残された未解決の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付期間短縮により未整備となっている駅前広場を早期に整備完了し、交通利便性の更なる向上と安心・安全な住環境を確保することが必要。 交付期間短縮により未整備となっている消防分団詰所を早期に整備完了し、防災対策の充実と安心・安全な住環境を確保することが必要。 交付期間短縮により未整備となっている児童遊園を早期に整備完了し、子供たちが安全に遊び交流する場を確保することが必要。 地域活動や生涯学習講座等の実施が活発となったものの、住民アンケートによる「地域活動が盛んであると思う市民の割合」の増加は見られなかったため、地域住民への情報発信などにより住民参加を促すことが必要。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化の進行を考慮し、移動しやすく暮らしやすいまちを目指すために、交通機能の強化や都市機能の集約が必要。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域コミュニティの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・地域と行政の役割分担とともに連携を強め、地域での課題の発見、解決への動きの活発化を図る。また、情報発信により、地域活動の波及に努める。 ○中心市街地における都市機能の集約と充実 <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地における既存ストックを活用した都市施設の更新による、都市機能の充実及び集約を図る。 ○公共交通における利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・駅までのアクセス性の向上や、安心して利用できる駅を目指し、駅周辺の安全対策や交通結節点機能の拡充を推進する。 ○安心・安全な環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害に対応した、安心・安全な生活環境を構築する。 ・子供たちが、安心・安全に遊び、交流できる場の確保を推進する。